

# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|   |                                      |   |                          |                 |        |
|---|--------------------------------------|---|--------------------------|-----------------|--------|
| <b>B</b>  |                                      | 学習支援システム応募用授業コード  |                          | AA0469          |        |
| テーマ   | 国際社会の諸問題の解決にむけて                      |   |                          |                 |        |
| 担当者   | 岡松 暁子                                | 開講期   | 春                        | ※変更可能性有<br>曜日時限 | 月曜日 4限 |
| 関連するコース   | グローバル・サステナビリティコース(他コース専攻の学生の履修を妨げない) |   |                          |                 |        |
| 授業の到達目標   |                                      |   | 授業のテーマ                   |                 |        |
| 国際社会の諸問題を解決するための手段、方法を多角的な視点から考えることができるようになる。   |                                      |   | 国際社会の諸問題を題材として、発表、討論を行う。 |                 |        |
| 授業の進め方  |                                      |   |                          |                 |        |
| ・参加者の関心のあるテーマについて、関連する文献を講読し、議論を行う。<br>・自分の関心のあるテーマについて、報告をする。<br>・その他、受講者の希望により決定する。<br>・受講者の希望により、英語文献の購読も行う。 |                                      |   |                          |                 |        |
| 学生の皆さんへのメッセージ   |                                      |   |                          |                 |        |
| 国際関係の諸問題について考えたい学生、積極的な姿勢で取り組む学生の参加をお待ちいたしております。  |                                      |   |                          |                 |        |
| 授業外で行うべき学習活動(準備学習等)   |                                      |   | 成績評価基準                   |                 |        |
| 毎回の予習、報告準備  |                                      |   | 報告、議論への貢献                |                 |        |
| 募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)  |                                      |   |                          |                 |        |
| 募集対象学年  | 新2年生、新3年生、新4年生                       |   |                          |                 |        |
| 1. 募集人数：20名程度<br>2. 選抜方法：志望調査票の内容。志望者数によっては面接も行う。   |                                      |   |                          |                 |        |
| 質問のある方は、下記にメールを送ってください。<br>問合せ先：岡松 暁子 (okamatsu@hosei.ac.jp)  |                                      |   |                          |                 |        |
| オープンゼミ・説明会  |                                      |   |                          |                 |        |
| オープンゼミ開催有無  | 無                                    | 春学期のみのゼミのため、オープンゼミはありません。<br>質問がある場合には、メールにて問い合わせてください。 |                          |                 |        |
| 説明会開催有無   | 無                                    | okamatsu@hosei.ac.jp                                    |                          |                 |        |
| 備考  |                                      |   |                          |                 |        |
|   |                                      |   |                          |                 |        |

# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|   |                                    |                                    |   |                 |        |
|---|------------------------------------|------------------------------------|---|-----------------|--------|
| <b>B</b>  |                                    | 学習支援システム応募用授業コード                   |   | AA0470          |        |
| テーマ   | ビジネスデザインの基礎・基本を学ぶーデザイン思考・経営を中心としてー |                                    |   |                 |        |
| 担当者   | 金藤 正直                              | 開講期                                | 通年  | ※変更可能性有<br>曜日時限 | 金曜日 3限 |
| 関連するコース   | 全てのコース                             |                                    |   |                 |        |
| 授業の到達目標   |                                    |                                    | 授業のテーマ  |                 |        |
| 研究論文やリサーチペーパーの作成、ケーススタディ、ビジネスモデルやこれに基づくプランの検討、量的・質的調査のための基礎的技法を学習しつつ、その成果を実践にも活かしていくことを目標とします。  |                                    |                                    | 企業や自治体、その他関係機関とも連携しながら、「読む」、「書く（描く）」、「調べる」、「考える」、「つくる」、「話す（報告する）」、「計算する」、「分析・評価する」、といった将来に必要なスキルの向上を目指します。  |                 |        |
| 授業の進め方  |                                    |                                    |   |                 |        |
| <p>① 現在取り組んでいる研究・調査のテーマや関心のあるテーマを分析し、検討していきます。</p> <p>② 研究・調査実施計画書を作成し、それをもとに企業などと連携しながら研究・調査などを進めていきます。</p> <p>③②での成果については、<b>中間報告や最終報告</b>を行い、また<b>レポート</b>も作成します。</p> <p>※ゼミメンバーのレベルアップのために、企業イベント、学会、インゼミ、エコプロなどへの参加も予定しています。</p> |                                    |                                    |   |                 |        |
| 学生の皆さんへのメッセージ   |                                    |                                    |   |                 |        |
| 現在取り組んでいる研究・調査や新たな課題に対して積極的かつ意欲的に取り組むことができること、他人への気配りを大切にできること、最後まで諦めずに責任を持ってやり遂げることができる皆さんと一緒に学ぶことを楽しみにしています。  |                                    |                                    |   |                 |        |
| 授業外で行うべき学習活動（準備学習等）   |                                    |                                    | 成績評価基準  |                 |        |
| 企業や自治体、その他関係機関とのミーティングを始め、関連イベントなどにも参加しながら、研究・調査やビジネスプランの基本的な視点、方法、内容を検討していきますので、楽しく前向きに、また、計画的に実施してください。   |                                    |                                    | 本演習の成績は次の <b>4点</b> に基づいて評価します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・討論への参加（発言内容）(20%)</li> <li>・報告用配布レジュメの内容(20%)</li> <li>・報告内容（プレゼンテーション能力）(30%)</li> <li>・最終レポート(30%)</li> </ul> |                 |        |
| 募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）  |                                    |                                    |   |                 |        |
| 募集対象学年  | 20名程度（新2年生、新3年生、新4年生の合計人数）を募集します。  |                                    |   |                 |        |
| 【選抜方法】  |                                    |                                    |   |                 |        |
| <p>① 「研究会志望調査票」と「面接試験の内容」をもとに選抜します。なお、面接は状況により、<b>オンライン</b>で行う予定です。</p> <p>② 面接試験の日程や可否の結果報告は、<b>メールおよび学習支援システム</b>で行いますので、各自確認してください。</p>  |                                    |                                    |   |                 |        |
| 【その他】   |                                    |                                    |   |                 |        |
| <p>① レポートの執筆は<b>必須</b>とします。</p> <p>② <b>研究・調査先、国内外の学会、自治体などのイベントでの研究報告や論文投稿</b>も行います。</p>   |                                    |                                    |   |                 |        |
| オープンゼミ・説明会  |                                    |                                    |   |                 |        |
| オープンゼミ開催有無  | 無                                  | ゼミに関する詳細については以下までご連絡ください。個別に対応します。 |   |                 |        |
| 説明会開催有無   | 無                                  | ※金藤: kanetoh@hosei.ac.jp           |   |                 |        |
| 備考  |                                    |                                    |   |                 |        |
| 研究・調査の方法（議論の仕方、報告の仕方・聞き方、質問の仕方、質問への対応など）は、皆さんが将来のために身に付けるべき重要なスキルですので、現在取り組んでいる研究・調査の進め方や、今後のために取り組むべき研究・調査のテーマに悩んでいる方は、ぜひ参加してください。   |                                    |                                    |   |                 |        |

# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|   |                         |   |   |                 |        |  |
|---|-------------------------|---|---|-----------------|--------|--|
| B   |                         | 学習支援システム応募用授業コード                        |   |                 | AA0471 |  |
| テーマ   | 技術論・デザイン論の文献講読とディスカッション |   |   |                 |        |  |
| 担当者   | 金光 秀和                   | 開講期                                     | 通年  | ※変更可能性有<br>曜日時限 | 火曜日 3限 |  |
| 関連するコース   | 全てのコース                  |   |   |                 |        |  |
| 授業の到達目標   |                         |   | 授業のテーマ  |                 |        |  |
| <p>技術論・デザイン論に関する学術的文献の精読によって、現代社会で技術やデザインが果たす役割について①<b>専門的な知識を得ること</b>、さらにその過程で、②<b>学術文献を読むための基本的なスキルを身につけること</b>を目標とします。また、文献講読で扱ったテーマについて、ディスカッション(あるいは対話)を行うなかで、技術やデザインが果たす役割について③<b>批判的に思考できること</b>、さらにその過程で、自分の考えを表現する、他者の考えを傾聴する、他者とともに考えるといった、④<b>ディスカッションや対話のための基本的なスキルを身につけること</b>を目標とします。</p>                                   |                         |   | <p>高度科学技術社会とも呼ばれる現代社会において、技術はなくてはならない存在です。技術は、人間と環境の共存、人間と人間の共存にも大きな役割を演じ、持続可能な社会を実現するためにも必要な存在です。しかし、私たちは<b>技術が現代社会で果たす役割</b>をどれだけ考えたことがあるでしょうか。そのことは、デザインについても同じです。技術的人工物がいかにデザインされ、その<b>デザインが私たちの行為や生活をどのように変えているか</b>をどれだけ考えたことがあるでしょうか。この研究会では、このような問題意識を持ちながら、<b>技術論</b>および<b>デザイン論</b>を授業のテーマとします。</p> |                 |        |  |
| 授業の進め方  |                         |   |   |                 |        |  |
| <p><b>学術的文献の講読</b>を基本とします。参加者は、①発表(レジュメ作成)、②質問、③司会を担当します。また、文献講読で扱った中からテーマを設定して、<b>ディスカッションや対話</b>を行います(ディスカッションと対話の違いについては授業中に説明します)。参加者の人数にもよりますが、学期中に 2~3 回程度実施する予定です。ディスカッション・対話の際には、企画と司会を何人かのグループで担当してもらいます。なお、2025 年度は、金光秀和・吉永明弘編『技術哲学』、村田純一『技術の哲学』、パパネック『生きのびるためのデザイン』、ダン他『スペキュラティブ・デザイン』などの文献講読を考えていますが、最終的には参加者と相談をして決定します。</p> |                         |   |   |                 |        |  |
| 学生の皆さんへのメッセージ   |                         |   |   |                 |        |  |
| <p>次のような方のご応募を期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「科学技術社会論」や「技術哲学」の授業内容やテーマに興味を持った方 ⇒一番ぴったりだと思います。</li> <li>・この分野についてはあまり勉強したことはないが、興味自体はある方 ⇒その興味をぜひ大切にしてください。</li> <li>・分野はともかく、学術的文献の読み方を学びたい方 ⇒どのような分野に出会うかは運です。まずは読んでみましょう。</li> <li>・文献を読むのはあまり得意ではないが、ディスカッションが好きな方 ⇒そうした方も大歓迎です。</li> </ul>                        |                         |   |   |                 |        |  |
| 授業外で行うべき学習活動(準備学習等)   |                         |   | 成績評価基準  |                 |        |  |
| 文献講読の担当(発表・質問・司会)、ディスカッション・対話の企画・運営などを行います。   |                         |   | 平常点(文献講読担当、ディスカッション・対話担当等)を80%、年度末レポートを20%として評価します。   |                 |        |  |
| 募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)  |                         |   |   |                 |        |  |
| 募集対象学年  | 新2~4年生                  |   |   |                 |        |  |
| <p>志望理由書を書いてもらい、Zoom ないしは対面で面接を行い決定します。複数年連続しての継続履修、他研究会との重複履修のいずれも原則可能です。必要に応じて相談してください。</p>   |                         |   |   |                 |        |  |
| オープンゼミ・説明会  |                         |   |   |                 |        |  |
| オープンゼミ開催有無  | 有                       | オープンゼミ・説明会の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。 |   |                 |        |  |
| 説明会開催有無   | 有                       |   |   |                 |        |  |
| 備考  |                         |   |   |                 |        |  |
| 各種情報は学習支援システムに掲載するので、興味がある人はまずは仮登録をしてください。  |                         |   |   |                 |        |  |

# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|  |                                |                         |   |                 |         |
|--|--------------------------------|-------------------------|---|-----------------|---------|
| <b>B</b>   |                                | 学習支援システム応募用授業コード        |   | AA0472          |         |
| テーマ  | エアライン・鉄道・モビリティ・船舶のオペレーションとサービス |                         |   |                 |         |
| 担当者  | 北川徹哉                           | 開講期                     | 通年  | ※変更可能性有<br>曜日時限 | 火曜日 5 限 |
| 関連するコース  | 全てのコース                         |                         |   |                 |         |
| 授業の到達目標  |                                |                         | 授業のテーマ  |                 |         |
| 1. 陸・海・空の交通や物流の性質と経営を説明できる。<br>2. 空港・港湾・駅・道などの運営・管理を説明できる。<br>3. 陸・海・空の各種交通のサービスを説明できる。  |                                |                         | 航空、鉄道、モビリティ、船舶などの各種交通機関の施設、業務・サービスを学び、陸・海・空の交通運輸の健全で安全な運用を維持することの重責を知ります。また、コロナ禍に大きく回復しつつある旅行観光業界にも関連したテーマです。 |                 |         |
| <b>授業の進め方</b><br>空の交通は航空機・クルーと空港施設・スタッフとが協力しながら担っています。これは鉄道交通や自動車交通、海上輸送・クルーズ事業でも同様で、船舶と港湾、列車と駅・路線、自動車と道路管理というように各ペアがうまく連携すればこそ、スムーズで安全な交通運輸が実現でき、着実な物流や楽しい旅行・観光を支えることができます。また、交通は公共性もあることから、各種企業、国や自治体などを含めて多様な組織・人間が関わっており、これらの業務全般もこのゼミの勉強対象です。エアラインの CA(キャビンアテンダント)、航空管制官や GS(グランドスタッフ)、GH(グランドハンドリング)などに興味をもつ学生さんもいますし、高速鉄道やリニア中央新幹線、さらには国際物流や海運、税関など、それぞれの学生さんが勉強したいテーマに取り組んでいます。現在の参加学生さんは 10 名ほどで、こじんまりとした、ほのぼのとした雰囲気勉強しています。来年度も、ゆったりとしたムードのゼミになると思います。進め方としては、テキストや資料等を選んで勉強し、パワーポイントにまとめて発表します。過去にはフォトコンテストを開催したこともあります。なお、3、4 年生は就職活動関係で多忙になりますので、臨機応変にいきます。なお、ゼミ合宿については学生さんの意向を聞いて実施するかどうかを決めたいと思います。 |                                |                         |   |                 |         |
| <b>学生の皆さんへのメッセージ</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・このゼミは初学者むけなので、むずかしく考える必要はありません。ちょっと勉強してみようかな、この時間あいているし、といった志望動機で問題ありません。</li> <li>・ゼミでは初めて直面する内容もありますので、たとえ間違えてしまっても、それは当然であり、それを楽しむくらいで丁度よいのです。むしろ、間違えたこと、わからなかったこと、を隠さず言えることは、あなたの魅力の一つとなります。</li> <li>・学生さん同士でお互いに助け合い、補い合いましょう。</li> </ul>  |                                |                         |   |                 |         |
| <b>授業外で行うべき学習活動（準備学習等）</b><br>テキスト・資料の熟読、下調べ、発表の準備   |                                |                         | <b>成績評価基準</b><br>参加、発表、質疑応答、討論などによる総合評価   |                 |         |
| <b>募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）</b>  |                                |                         |   |                 |         |
| 募集対象学年   | 新 2～4 年生                       |                         |   |                 |         |
| 基本的に、志望理由書での書類選考とします。面接は希望者のみ、Zoom で行います。面接を希望する場合は、北川までメール(アドレスは下記の備考を参照)にて、学生証番号・氏名、面接希望の旨、面接の希望日時(第 3 候補くらいまで書いてください)をご連絡ください。折り返し、面接日時と Zoom 情報を返信します。   |                                |                         |   |                 |         |
| <b>オープンゼミ・説明会</b>  |                                |                         |   |                 |         |
| オープンゼミ開催有無   | 無                              | オープンゼミ・説明会の情報詳細は        |   |                 |         |
| 説明会開催有無  | 無                              | 学習支援システムに仮登録して確認してください。 |   |                 |         |
| <b>備考</b><br>何かありましたら、北川までメール(kitagawa@hosei.ac.jp)をください。  |                                |                         |   |                 |         |



# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|  |  |  |  |                 |         |
|--|--|--|--|-----------------|---------|
| <b>B</b>   |  | 学習支援システム応募用授業コード   |  | AA0473          |         |
| テーマ  | SDGs の時代と地域社会                                      |  |  |                 |         |
| 担当者  | 小島 聡   | 開講期  | 通年   | ※変更可能性有<br>曜日時限 | 火曜日 5 限 |
| 関連するコース  | RSP 生用   |  |  |                 |         |
| 授業の到達目標  |  |  | 授業のテーマ   |                 |         |
| ・地域の持続可能性に対する幅広い視野と教養、地域実践の動向に関する知識を身につける。<br>・地域課題の解決に関する発想力やデザイン力を身につける。   |  |  | SDGs を視野に入れながら、地域の持続可能性問題に向き合い、課題解決に向けた創造的な取り組み(ソーシャル・デザイン・ソーシャル・イノベーション)について考えます。 |                 |         |
| 授業の進め方   |  |  |  |                 |         |
| SDGsとつながる地域の持続可能性課題とそれらの解決に向けたアクションについて考えていきます。具体的には、空き家問題に象徴される都市の縮小やコミュニティの衰退、人口減少、高齢化、格差、過疎化、東京一極集中、地域環境の劣化、災害や感染症といったリスクの増大、ジェンダー平等、多文化共生、といった諸課題に目を向け、地域再生、持続可能な地域社会、地域循環共生圏といった社会像、地域の未来に示唆を与えるような創造的取り組み(ソーシャル・デザイン・ソーシャル・イノベーション)について検討します。文献(書籍、雑誌・・・)、映像、討論・ワークショップ、ゲスト、研究会独自のフィールドスタディ、プロジェクトの企画運営など、様々な手法を試みる予定です。 |  |  |  |                 |         |
| 学生の皆さんへのメッセージ  |  |  |  |                 |         |
| たとえ小さな挑戦であったとしても、未来への希望になりうるような実践にも目を向けながら、実現すべき持続可能な地域社会について議論し、同時に、参加する社会人学生自身の問題関心やRSPにおける学びの目的を活かしつつ、これからのライフ・デザインにも役立つような研究会にできればと考えています。また、様々な人生を歩んできた社会人学生のみなさんが本学部集った偶然を大切に、社会人学生のコミュニティ形成を図りたいと思います。  |  |  |  |                 |         |
| 授業外で行うべき学習活動(準備学習等)  |  |  | 成績評価基準   |                 |         |
| ・文献等の予習<br>・各地のケースに関する情報収集<br>・テーマに関する調査<br>・プレゼン資料やレポートの作成  |  |  | 積極性・協調性をはじめとする研究会への参加姿勢と、レポート等の課題の総合評価とします。  |                 |         |
| 募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)   |  |  |  |                 |         |
| 募集対象学年   | 社会人学生(2~4年生)、7~8名程度。<br>※2024年度の研究会から継続する学生を優先します。 |  |  |                 |         |
| ・志望書と、対面またはZoomによる面接で選考する予定です。<br>・質問などは、メール( <a href="mailto:skojima@hosei.ac.jp">skojima@hosei.ac.jp</a> )で受けつけます。   |  |  |  |                 |         |
| オープンゼミ・説明会   |  |  |  |                 |         |
| オープンゼミ開催有無   | 有  | 詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。学部主催の説明会には参加しませんが、オープンゼミの終了後に相談の時間を設けます。 |  |                 |         |
| 説明会開催有無  | 無  |  |  |                 |         |
| 備考   |  |  |  |                 |         |
| 2024年度の春学期は、SDGsの17目標と日本社会を対比させて学びながら、関連分野の学部教員をゲストに迎え、秋学期はテキスト(商店街の再生)の輪読を中心に、ケーススタディやドキュメンタリー番組の視聴などを組み合わせています。2025年度も、参加者のみなさんと相談しながら進めていきます。   |  |  |  |                 |         |

# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|  |                |  |    |                 |       |
|--|----------------|--|----|-----------------|-------|
| <b>B</b>   |                | 学習支援システム応募用授業コード   |    | AA0475          |       |
| テーマ  | サステナブルキャリアを考える |  |    |                 |       |
| 担当者  | 櫻井 洋介          | 開講期  | 通年 | ※変更可能性有<br>曜日時限 | 木曜日3限 |
| 関連するコース  | 全てのコース         |  |    |                 |       |
| 授業の到達目標  |                | 授業のテーマ   |    |                 |       |
| <p>「サステナブルキャリア」を実現するために必要な基礎知識や理論を学び、自らの意思でキャリアを構築、選択できるようになること。</p>   |                | <p>「サステナブルキャリアを考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「人生 100 年」と言われる時代において、年功序列型の賃金や終身雇用といった旧来の日本的働き方が見直され、一人ひとりが主体的・自律的に働き方を選択していく社会に変化しつつあります。</li> <li>■ 本ゼミでは、社会環境の変化を踏まえて「サステナブル(持続可能な)キャリア」を実現するために何が必要か、現代社会における働き方の特徴や諸問題について学んでいきます。</li> </ul> |    |                 |       |
| <p style="text-align: center;"><b>授業の進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ テキストの講読を行い、その内容をもとにディスカッション形式で進行することを基本とします。また、グループ発表や個人発表を実施してもらうことを想定しています(ゼミ生の人数等に応じて変更の可能性あります)。</li> <li>■ 4年次の論文執筆は任意です。</li> <li>■ 学生の興味関心分野等に応じて、ゲストスピーカーの招聘や校外学習も積極的に実施していきます。</li> </ul>         |                |  |    |                 |       |
| <p style="text-align: center;"><b>学生の皆さんへのメッセージ</b></p> <p>本ゼミでは、「キャリアについて学ぶ」という性質上、ゲストスピーカー(社会人の方)を招いてお話をお伺いする機会等を積極的に設けていきたいと思えます。社会人の方々は、忙しいお仕事の合間を縫ってご対応頂くこととなりますので、「話をしにきた甲斐があった」と思って頂けるように、学生の皆さんの主体的かつ積極的な学びが求められます。そのため、本ゼミでは、意欲的にゼミ活動に参加頂ける学生を歓迎します。ゼミでの学びを通じて、自身のキャリアについて一緒に考えていきましょう。</p> |                |  |    |                 |       |
| 授業外で行うべき学習活動(準備学習等)  |                | 成績評価基準   |    |                 |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自主研究(文献調査、資料作成、発表準備等)</li> <li>■ 企業訪問や校外学習等の実施</li> </ul>   |                | <p>ディスカッションへの参加、グループワークやゼミ活動への貢献、グループ発表や個人発表の内容等を総合的に評価します。</p>  |    |                 |       |
| <p style="text-align: center;"><b>募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)</b></p>   |                |  |    |                 |       |
| 募集対象学年   | 新2年生～4年生       |  |    |                 |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 志望者が多数の場合にのみ、志望調査票による選考を行います。詳細は学習支援システムを確認して下さい。</li> <li>■ 他ゼミとの重複履修および本ゼミの継続履修を認めます。</li> </ul>  |                |  |    |                 |       |
| <p style="text-align: center;"><b>オープンゼミ・説明会</b></p>   |                |  |    |                 |       |
| オープンゼミ開催有無   | 有              | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 10/24(木)3限、11/14(木)3限にオープンゼミを開催予定です。</li> <li>■ オープンゼミの情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。</li> <li>■ 本ゼミに関するご質問は、教員(櫻井:<a href="mailto:sakurai@hosei.ac.jp">sakurai@hosei.ac.jp</a>)まで直接ご連絡下さい。</li> </ul>                        |    |                 |       |
| 説明会開催有無  | 無              |  |    |                 |       |
| <p style="text-align: center;"><b>備考</b></p>   |                |  |    |                 |       |

# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|  |  |   |   |                 |         |  |
|--|--|---|---|-----------------|---------|--|
| <b>B</b>   |  | 学習支援システム応募用授業コード                        |   |                 | AA0476  |  |
| テーマ  | 自然災害と防災を考える                                  |   |   |                 |         |  |
| 担当者  | 杉戸 信彦  | 開講期                                     | 通年  | ※変更可能性有<br>曜日制限 | 火曜日 2 限 |  |
| 関連するコース  | 全てのコース                                       |   |   |                 |         |  |
| 授業の到達目標  |  |   | 授業のテーマ  |                 |         |  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>自然災害と防災について、災害をもたらす自然現象、土地条件、人間社会の備えなどの諸側面から具体的に説明できる。</li><li>調査法や発表法を身につける。</li><li>地図を活用できる。</li></ul>  |  |   | 自然災害のすがたは、災害をもたらす自然現象（地震や豪雨など）、土地条件（ゆれやすさや浸水しやすさなど）、人間社会の備え（ハード面からソフト面まで）など、さまざまな側面によって決まります。<br>本研究会では、自然災害と防災にかかわるテーマについて、主に自然地理学的な観点から考えていきます。 |                 |         |  |
| 授業の進め方   |  |   |   |                 |         |  |
| <p>文献講読を中心とし、時の話題の紹介やグループ研究などにも取り組みます。自然災害と防災にかかわる話題を中心に扱います。はじめに、災害を決定づける要因とは何かを過去の災害から具体的に学ぶことで、自然災害と防災を多様な観点から理解していきます。そのうえで、さまざまな課題について、関連する諸側面を見渡しながら検討していく流れを考えています。</p> <p>文献講読やグループ研究のテーマは、研究会をすすめる中で学生のみなさんと相談しながら検討していきます。</p>     |  |   |   |                 |         |  |
| 学生の皆さんへのメッセージ  |  |   |   |                 |         |  |
| 自然災害は、人間社会のあらゆる側面に影響を与えるといっても過言ではありません。自然環境と人間社会をひろく見渡しながら検討する必要があります。本研究会が、リスクに配慮した防災力の高い地域社会を実現するベースとなるよう願っています。   |  |   |   |                 |         |  |
| 授業外で行うべき学習活動（準備学習等）  |  |   | 成績評価基準  |                 |         |  |
| 資料収集や調査、発表準備、まとめ等を行う。  |  |   | 平常点やレポート等の総合評価（100%）  |                 |         |  |
| 募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）   |  |   |   |                 |         |  |
| 募集対象学年   | 新 2～4 年生計 10 名程度 * A と B の両者に応募は可だが受講は原則いずれか |   |   |                 |         |  |
| <p>志望調査票に、志望理由と取り組みたいテーマを記してください。後者は箇条書きでも構いません。</p> <p>選抜を行う場合、志望調査票の記述内容や面接などによって行います。詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。</p> <p>「自然環境論 I」「同 II」「同 III」「自然災害論」を未履修の学生は、来年度履修するよう検討してください。</p> <p>&lt;注&gt; 杉戸研究会 B をすでに受講した学生には原則として受講許可を出しません。</p> |  |   |   |                 |         |  |
| オープンゼミ・説明会   |  |   |   |                 |         |  |
| オープンゼミ開催有無   | 無  | オープンゼミ・説明会の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。 |   |                 |         |  |
| 説明会開催有無  | 無  |   |   |                 |         |  |
| 備考   |  |   |   |                 |         |  |
| 質問等は杉戸までメールをお送りください。   |  |   |   |                 |         |  |

# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|  |                                       |   |   |                 |        |  |
|--|---------------------------------------|---|---|-----------------|--------|--|
| B  |                                       | 学習支援システム応募用授業コード                            |   |                 | AA0477 |  |
| テーマ  | 環境・廃棄物問題を経済の視点から考える                   |   |   |                 |        |  |
| 担当者  | 杉野 誠                                  | 開講期   | 通年  | ※変更可能性有<br>曜日時限 | 木曜日 3限 |  |
| 関連するコース  | サステイナブル経済・経営コース<br>グローバル・サステイナビリティコース |   | ローカル・サステイナビリティコース<br>人間文化コース 環境サイエンスコース   |                 |        |  |
| 授業の到達目標  |                                       |   | 授業のテーマ  |                 |        |  |
| <p>本研究会では、(1)都市を含めた環境問題を広い視野でとらえ、(2)各自の価値基準に基づく政策思考力を高め、(3)他者に意見を伝え・議論できるようになることを目的とします。</p>   |                                       |   | <p>2025年度は、環境経済学および廃棄物の経済学の基礎的な内容を取り扱います。</p>   |                 |        |  |
| 授業の進め方   |                                       |   |   |                 |        |  |
| <p>文献の精読を行う。毎回、レポーターを選び報告をする(レポーターは、毎回授業内で決定)。レポーター以外は、質問や議論を活発に行うこと。また、各自のまとめレポートの進捗状況を定期的に報告する。</p>  |                                       |   |   |                 |        |  |
| 学生の皆さんへのメッセージ  |                                       |   |   |                 |        |  |
| <p>本研究会では、環境問題および廃棄物問題について議論を交えながら改善方法や現行制度の問題点を学んでいきます。そのため、受講生間のコミュニケーションを重視します。くわえて、他者に対する気配りや最後まで諦めないことも重視します。<br/>英語の文献を読む場合があります。</p>  |                                       |   |   |                 |        |  |
| 授業外で行うべき学習活動（準備学習等）  |                                       |   | 成績評価基準  |                 |        |  |
| <p>テキスト・資料の熟読、関連情報の収集および報告資料の作成<br/>まとめレポートのトピックを決定し、各自でレポートを進める。</p>  |                                       |   | <p>本演習の成績は以下の4点に基づいて決定します。<br/>① 報告資料の内容<br/>② プレゼンテーション能力<br/>③ 議論への参加(発言内容)<br/>④ まとめレポート</p> |                 |        |  |
| 募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）   |                                       |   |   |                 |        |  |
| 募集対象学年   | 新2～4年生(合計20名)                         |   |   |                 |        |  |
| <p>選考方法：志望理由書をもとに選考いたします。なお、オンラインでの面談を行う可能性があります。面談の内容は、(1)研究会のテーマに対する熱意(動機)、(2)積極性(コミュニケーション)および(3)その他となります。これらを総合的に判断いたします。<br/>その他：履修期間は、1年間を前提として研究会を運営します。卒業論文や卒業研究などを考えている場合、この研究会 B を履修してから研究会 A に参加してください。</p> |                                       |   |   |                 |        |  |
| オープンゼミ・説明会   |                                       |   |   |                 |        |  |
| オープンゼミ開催有無   | 有                                     | オープンゼミ・説明会の情報詳細は<br>学習支援システムに仮登録して確認してください。 |   |                 |        |  |
| 説明会開催有無  | 無                                     |   |   |                 |        |  |
| 備考   |                                       |   |   |                 |        |  |
|  |                                       |   |   |                 |        |  |



# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|  |   |                         |  |                 |        |  |
|--|---|-------------------------|--|-----------------|--------|--|
| <b>B</b>   |   | 学習支援システム応募用授業コード        |  |                 | AA0478 |  |
| テーマ  | 人間コミュニケーション (Human Communication)       |                         |  |                 |        |  |
| 担当者  | ストックウェル・エスター                            | 開講期                     | 通年   | ※変更可能性有<br>曜日時限 | 月曜日 2限 |  |
| 関連するコース  | 全てのコース                                  |                         |  |                 |        |  |
| 授業の到達目標  |   |                         | 授業のテーマ   |                 |        |  |
| <p>This course combines theory with practice, offering a comprehensive look at the various dimensions of human communication. We will explore fundamental theories that explain key aspects of interpersonal relationships, group dynamics, organizational communication, cultural diversity, attitudes, persuasion, mass media, and the impact of media on audiences. Students will learn to critically analyze why some forms of communication succeed while others fail. The course examines the individual, social, and technological aspects of communication from both theoretical and practical perspectives.</p> |   |                         | <p><b>* Human Communication *</b><br/>           Communication shapes every aspect of our lives in many different forms. We interact with those around us not only through verbal language but also through non-verbal and other modes of communication. Developing effective communication skills is crucial for success in university and professional life. Cultural differences can significantly influence how we communicate with one another. In addition, news and current events reach us through various media, such as newspapers, television, and the Internet. These key concepts will be examined in this subject.</p> |                 |        |  |
| 授業の進め方   |   |                         |  |                 |        |  |
| <p>Classes will include a series of short lectures accompanied by visual materials, followed by group and class discussions based on the lecture content. Students are required to prepare for each class by reading assigned articles related to the topics of the following session.</p>   |   |                         |  |                 |        |  |
| 学生の皆さんへのメッセージ  |   |                         |  |                 |        |  |
| <p>言葉自体はメッセージを伝えますが、表情、姿勢、ファッションなども多くのメッセージを相手に伝えます。コミュニケーション学は、社会学、心理学、経済学、政治学、法学、文学、言語学、工学、医学などの分野の基盤になっており、人間は何らの形でコミュニケーションを取らないと生きていけません。また、家族・交友などの人間関係においても、欠かすことができません。全てのコミュニケーションは、自分を理解することから始まり、その次に、周りの人、学校や会社、それから社会に影響を及ぼします。このゼミは、語学のためではなく、コミュニケーションという分野について英語で学ぶのは目的なので、コミュニケーション・スタディーズに興味のある方のご参加をお待ちしています。</p>   |   |                         |  |                 |        |  |
| 授業外で行うべき学習活動 (準備学習等)   |   |                         | 成績評価基準   |                 |        |  |
| <p>Students are required to prepare for class by reading handouts and assigned articles on the upcoming topics.</p>  |   |                         | <p>Active participation in class discussions is expected. Assessment will be based on weekly participation, presentations, and written assignments. Students will be evaluated based on their understanding of the course content, not on their English language proficiency.</p>  |                 |        |  |
| 募集にあたってのお知らせ (選抜方法・その他)  |   |                         |  |                 |        |  |
| 募集対象学年   | 新2-4年生                                  |                         |  |                 |        |  |
| <p>Student numbers are limited to a maximum of 14.<br/>           この研究会について質問がある学生はストックウェルまでメール(<a href="mailto:estock@hosei.ac.jp">estock@hosei.ac.jp</a>)にて連絡してください。</p>   |   |                         |  |                 |        |  |
| オープンゼミ・説明会   |   |                         |  |                 |        |  |
| オープンゼミ開催有無   | <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 | オープンゼミ・説明会の情報詳細は        |  |                 |        |  |
| 説明会開催有無  | <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 | 学習支援システムに仮登録して確認してください。 |  |                 |        |  |
| 備考   |   |                         |  |                 |        |  |

# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|  |  |   |  |                 |        |  |
|--|--|---|--|-----------------|--------|--|
| <b>B</b>   |  | 学習支援システム応募用授業コード  |  |                 | AA0479 |  |
| テーマ  | 緑豊かで生物息づく都市に向けて  |   |  |                 |        |  |
| 担当者  | 高田 雅之  | 開講期   | 通年   | ※変更可能性有<br>曜日時限 | 木曜日 2限 |  |
| 関連するコース  | 全てのコースが対象  |   |  |                 |        |  |
| 授業の到達目標  |  |   | 授業のテーマ   |                 |        |  |
| ゼミでは「緑・水・生物」の視点から人と自然にとって持続可能な都市を探求します。防災・造園・生物多様性・計画・教育・地域など様々な分野からのアプローチを試み、フィールドワークや国内外事例研究を含めて、 <b>多面的知識と俯瞰的な視点</b> から都市環境を考え、望ましい姿をイメージできる <b>実践的な思考力(提案力+応用力+デザイン力=総合力)</b> を高めることを目標とします。併せて、千代田区が取り組んでいる環境マネジメントシステムであるCES(千代田エコシステム)への貢献も目指します。   |  |   | 千代田区を含む都市全体を対象に以下に取り組みます。<br>①緑・水・多様な生物など都市の自然を構成している個々の要素について理解と知識を深めます。<br>②街路樹・公園・都市農業・河川や海岸など都市を構成する自然的空間の果たす役割と機能を考究します。<br>③計画とマネジメント・環境教育・コミュニティ・企業活動・景観づくりなど人間との関係価値について探求します。<br>④認証制度・グリーンインフラなどこれらに関連づける仕組みやシステムから持続的な都市を提案します。 |                 |        |  |
| 授業の進め方   |  |   |  |                 |        |  |
| ① <b>グループ研究</b> …半期に 2～3テーマを設定し、グループで調査・討論・取りまとめ・プレゼンテーションを行い、「課題設定→情報収集→分析評価→提案」を通して <b>課題への知識と理解</b> を高めます。<br>② <b>個人研究</b> …個々人の関心に応じた研究テーマを自由に設定して調査と意見交換を行い、 <b>到達目標に向かう能力</b> を高めていきます。また「ワンスライドトーク」として日替わり交代で問題提起と討論を行い、個々の学びを高めます。<br>③ <b>フィールドワーク</b> …半期に数回程度、ゼミの時間を活用して、様々な取り組みの実際を学ぶ、またはグループで探索調査して取りまとめるほか、週末の野外学習、夏合宿等の活動を行います。<br>④ <b>実践提案まとめ</b> …これらを積み重ね、組み合わせて、持続可能な都市に向けたアイデアや提案を取りまとめることを通して、 <b>俯瞰力・構想力・実践的・思考力</b> を高めていきます。 |  |   |  |                 |        |  |
| 学生の皆さんへのメッセージ  |  |   |  |                 |        |  |
| 持続可能な都市は、持続可能な社会を考える重要な場だと思います。その中で自然環境(緑・水・生物)が果たす役割が国／都市の政策に位置づけられるなど世界的に重要視されています。このゼミではひとつの課題に対して様々な角度から視線を当て、その反射光を柔軟に受け止めてひとつの形に組み立てる力を目指します。多様な授業の進め方とアプローチ分野に対して、 <b>高い関心と意欲を持って積極的に参加・率先</b> できる方を歓迎します。  |  |   |  |                 |        |  |
| 授業外で行うべき学習活動 (準備学習等)   |  |   | 成績評価基準   |                 |        |  |
| 「授業の進め方」①～④に関して、必要な準備や調査を行うほか、日頃の学習の中でヒントやアイデアを常に探し、それをゼミ学習に生かすよう心掛けて下さい。  |  |   | 提出物の内容と期日遵守の他、学習意欲、受講態度、グループワークへの貢献、ゼミ運営への率先と貢献、そのほか合宿等活動への参加などを総合的に評価します。   |                 |        |  |
| 募集にあたってのお知らせ (選抜方法・その他)  |  |   |  |                 |        |  |
| 募集対象学年   | 新2年生、新3年生、新4年生   |   |  |                 |        |  |
| 募集人数:  | 25名程度  |   |  |                 |        |  |
| 選考:  | 選考は書面及び面接( <b>ZOOMまたは対面</b> )により行います。志望調査表には志望理由のほかに <b>関心あるテーマと理由</b> 、その他ゼミへの抱負を書いて下さい。1年単位のゼミですが <b>高い意欲で取り組んでいただく方は継続参加も歓迎</b> です。選考に関する連絡については <b>学習支援システム(Hoppii)</b> でお知らせしますので随時確認して下さい。 |   |  |                 |        |  |
| オープンゼミ・説明会   |  |   |  |                 |        |  |
| オープンゼミ開催有無   | 有  | オープンゼミの詳細は <b>学習支援システム(Hoppii)</b> にてお知らせしますので仮登録の上で確認して下さい。説明会は行いませんが聞きたいことがあれば何なりと教員(mtakada@hosei.ac.jp)に問い合わせして下さい。 |  |                 |        |  |
| 説明会開催有無  | 無  |   |  |                 |        |  |
| 備考   |  |   |  |                 |        |  |

# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|   |  |  |   |               |                        |
|---|--|--|---|---------------|------------------------|
| <b>B</b>  |  | 学習支援システム応募用授業コード                             |   | <b>AA0480</b> |                        |
| <b>テーマ</b>  |  | 文化人類学的エスノグラフィーの基礎を学び、文化を探る                   |   |               |                        |
| <b>担当者</b>  |  | 高橋五月   | <b>開講期</b>  | 通年            | ※変更可能性有<br><b>曜日時限</b> |
| <b>関連するコース</b>  |  | 全てのコース(但し、翌年度 A ゼミ履修を希望する場合は人間文化コース選択を奨励します) |   |               |                        |
| <b>授業の到達目標</b>  |  |  | <b>授業のテーマ</b>   |               |                        |
| 1) 文化人類学とエスノグラフィーについての基本的な理解を得る、2) エスノグラフィーの実践体験する、3) エスノグラフィーについて具体例を交えながら自分の考えを述べるができる、4) 文献研究、研究発表、論文作成のスキルを得る。  |  |  | エスノグラフィー（人の話を聞き、行動を観察し、その社会・文化背景を考察する）という調査手法の基礎を学び、各自で実際に現地調査を行い、データ分析し、論文にまとめる。研究テーマ選択は自由！（例：現代寺院、観光地、食育、子ども食堂、ハラル食、和食、ケアリーバー、怪談、妖怪、地下アイドル、推し、罪悪感、等々） |               |                        |
| <b>授業の進め方</b>   |  |  |   |               |                        |
| 本研究会は大きく分けて3つの活動で構成されます。  |  |  |   |               |                        |
| ① エスノグラフィー入門：テキストを講読、議論しながら、エスノグラフィーの基礎的知識を得る。  |  |  |   |               |                        |
| ② 現地調査：各自が選択した研究テーマで調査計画書を作成し、実際に現地調査を実行し、発表、意見交換する。  |  |  |   |               |                        |
| ③ 研究論文：先行研究を参照しながら現地調査で得たデータを分析、調査論文を作成、発表する。   |  |  |   |               |                        |
| <b>学生の皆さんへのメッセージ</b>  |  |  |   |               |                        |
| 身近な社会問題や文化的営みに注目し、「当たり前」と思っていたことに疑問を見出し、 <b>新たな謎</b> を発見する。そして、その謎についてエスノグラフィーという調査手法を用いて探求するというのがこのゼミの趣旨です。調査対象者の方々の話を聞き、彼らの日常生活の一部を観察させてもらうというのは、簡単なようで難しく、しかし刺激的で面白い研究方法です。しかも、(少し大げさかもしれませんが) エスノグラフィー的視点は日常に面白さを見出すことができ、人生を豊かにします。「正解」がない学問ですが、 <b>モヤモヤ</b> を楽しみながら、頭と体を使った知の探求と一緒に楽しみましょう！   |  |  |   |               |                        |
| <b>授業外で行うべき学習活動（準備学習等）</b>  |  |  | <b>成績評価基準</b>   |               |                        |
| テキストや関連文献の講読、文献感想文、ファシリテーター、調査準備、現地調査、発表準備、論文作成   |  |  | 平常点（意見交換への参加など）、フィールドワーク、発表、文献感想文や論文による総合評価   |               |                        |
| <b>募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）</b>   |  |  |   |               |                        |
| <b>募集対象学年</b>   |  | 新2、3年生(15名程度)                                |   |               |                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>高橋Bゼミは基本的に<b>1年間限定</b>での履修です（留学等の理由により1年間で完了できない場合は応相談）。</li> <li>高橋Aゼミ入会には<b>Bゼミ履修を推奨</b>しています。将来的に高橋Aゼミで卒論に取り組みたい場合は、まずBゼミにてエスノグラフィー基礎知識を習得してください。<b>Bゼミ履修者は希望者全員が次年度からAゼミに参加可能</b>です。</li> <li>Bゼミのみ履修希望（将来的なAゼミ入会を希望しない方）も大歓迎です。毎年半数程度がBゼミのみ履修しています。</li> <li>応募の際は、志望理由の欄に現時点で興味のある調査テーマとその理由も書いてください。</li> </ul> <p>応募者多数の場合は、志望票の内容（第1次審査）と、面接（第2次審査）によって選抜します。第1次審査通過者リストと面接の詳細はHoppii「お知らせ」を確認してください。</p> |  |  |   |               |                        |
| <b>オープンゼミ・説明会</b>   |  |  |   |               |                        |
| <b>オープンゼミ開催有無</b>   |  | 有  | 10/24, 11/7, 11/14(木)3限@BT901で開催予定。詳細はHoppiiに仮登録して確認してください。質問等は高橋<stakahashi@hosei.ac.jp>に気軽にどうぞ。   |               |                        |
| <b>説明会開催有無</b>  |  | 有  |   |               |                        |
| <b>備考</b>   |  |  |   |               |                        |
|   |  |  |   |               |                        |

# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|  |                   |                  |  |                 |        |  |
|--|-------------------|------------------|--|-----------------|--------|--|
| <b>B</b>   |                   | 学習支援システム応募用授業コード |  |                 | AA0481 |  |
| テーマ  | 英文契約の基礎           |                  |  |                 |        |  |
| 担当者  | 永野秀雄              | 開講期              | 春学期  | ※変更可能性有<br>曜日時限 | 金曜日 4限 |  |
| 関連するコース  | グローバル・サステナビリティコース |                  |  |                 |        |  |
| 授業の到達目標  |                   |                  | 授業のテーマ   |                 |        |  |
| 受講者の皆さんが、社会に出て国際的に活躍されるときに遭遇する英文契約を読む基礎力を身につけることを目標とします。   |                   |                  | 本研究会では、英語で書かれた基本的な契約書（英米法に基づくもの）を読むための勉強をします。英文契約書の英語は、特殊なものです。そのための基本的な用語や文例を学んでいきます。 |                 |        |  |
| 授業の進め方   |                   |                  |  |                 |        |  |
| まず、担当教員が、初歩的な教科書をもとに、英文契約の基本を解説していきます。授業の途中で何回か、教科書にでてくる用語や文例を覚えて頂き、確認する小テストを行います。教科書を終えたのち、実際に用いられている英文契約書（プリント）を用いて、皆さんに読んで頂きます。受講生何名かで構成される班による発表形式を取ります。難しい箇所は、担当教員が解説いたします。   |                   |                  |  |                 |        |  |
| 学生の皆さんへのメッセージ  |                   |                  |  |                 |        |  |
| 一昔前までは、企業で英文契約書を読む必要のある人は、国際法務部員などの一部の専門家に限られていました。しかし、現在、国際法務部などの部門は、契約書の交渉と作成（起案）、国際入札、国際的な訴訟などの業務に追われています。その結果、日常的に用いられる普通の英文契約は、国際部門の営業職のみならず、国内の調達部門、財務部門、製造部門、環境部門をはじめ、多くの総合職の方々に読むことが求められる時代になりました。是非とも多くの皆さんに、その基本的な知識を身につけて頂きたいと思います。 |                   |                  |  |                 |        |  |
| 授業外で行うべき学習活動（準備学習等）  |                   |                  | 成績評価基準   |                 |        |  |
| 教科書で指定された小テストの箇所（一定の長さの条文や単語）を覚えて来て下さい。また、実際の英文契約書の訳を班ごとに発表するときに和訳や説明をしたレジュメの準備をお願いします。  |                   |                  | 平常点のみです。小テストの結果、班の発表等で評価します。なお、3回以上欠席したり、小テストの勉強や発表準備をしておこななかったりした場合には、単位をあげることはできません。 |                 |        |  |
| 募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）   |                   |                  |  |                 |        |  |
| 募集対象学年   | 新2・3年生。           |                  |  |                 |        |  |
| <p>応募は、Hoppii の[2025 年度応募用]研究会 B で受け付けます。募集にあたっては、教員による面接を行います。自己紹介と志望理由について、合計3分でスピーチしてください。面接の日時は、応募〆切の後、数日以内に Hoppii に掲示しますので、必ず確認して下さい</p> <p>このゼミに関して質問がある場合には、面接時に担当教員にお尋ね下さい。</p>   |                   |                  |  |                 |        |  |
| オープンゼミ・説明会   |                   |                  |  |                 |        |  |
| オープンゼミ開催有無   | 無                 |                  |  |                 |        |  |
| 説明会開催有無  | 無                 |                  |  |                 |        |  |
| 備考   |                   |                  |  |                 |        |  |



# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|  |                               |   |  |                 |        |
|--|-------------------------------|---|--|-----------------|--------|
| <b>B</b>   |                               | 学習支援システム応募用授業コード                        |  | AA0482          |        |
| テーマ  | 持続可能な社会を求めて:多様性と寛容な社会         |   |  |                 |        |
| 担当者  | 武貞 稔彦／竹本 研史                   | 開講期                                     | 通年   | ※変更可能性有<br>曜日時限 | 木曜日 5限 |
| 関連するコース  | グローバル・サステイナビリティコース 人間文化コース    |   |  |                 |        |
| 授業の到達目標  |                               |   | 授業のテーマ   |                 |        |
| 本研究会では、(ア)持続可能性(もしくは開発と環境)をめぐる議論を広い視野から捉え、(イ)自らの意見を持ちそれを人に伝え、(ウ)途上国、先進国を問わず、将来の持続可能な社会の姿を自らの価値観に基づき想像／構想できるようになることを目標とします。   |                               |   | 2025 年度は、「多様性」と「寛容」について考えます。現代社会では、多様な他者との共生が必要です。実際にどうすればそれが可能になるのか、特にこれから日本社会で増加していくであろう、「外国とつながりのある人々」との共生や「移民」の受け入れを巡る議論を中心に考えていきます。 |                 |        |
| <b>授業の進め方</b>  |                               |   |  |                 |        |
| 主に a)基礎文献の精読、b)与えられた課題に関する個人またはグループによる調査とグループディスカッション、c)参加者の意見表明の機会、などからなります。受講者の積極的な提案に基づき、演習の方法等は随時見直しを行います。また、2025 年度は多文化共生の現場(例:外国とつながりのある子どもの多い小学校など)への訪問を通じて、実際に現場での体験を積むことも行う予定です。  |                               |   |  |                 |        |
| <b>学生の皆さんへのメッセージ</b>   |                               |   |  |                 |        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>* 当研究会は1年間でメンバーは原則交代です。1年間という限られた時間を実のある研究会とするため、参加者は「一期一会」の精神で積極的に他の参加者とかかわり合い、コミュニケーションすることが必須です。</li> <li>* 「多様性」「寛容」「自由」以外にも以下のキーワードに関心のある人の応募を期待します。<br/>【途上国、貧困、援助／支援、移民、公正／正義、平等】</li> <li>* 演習参加者に最も求められるものは知識や学力ではなく「コミットメント」と「他者への配慮」です。教員としては、ゼミへの時間通りの出席および事前の予習は当然のことと考えます。</li> </ul> |                               |   |  |                 |        |
| 授業外で行うべき学習活動(準備学習等)  |                               |   | 成績評価基準   |                 |        |
| 基礎文献、与えられた課題は必ず熟読して演習に臨むこと。関連して紹介された参考書なども出来る限り目を通すこと。必要に応じてゼミ外でもお互い積極的にコミュニケーションをとり、課題等について議論する機会を設けること。  |                               |   | 研究会での議論への貢献、必要なレポート、その他研究会運営における貢献などを総合的に勘案します。  |                 |        |
| <b>募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)</b>  |                               |   |  |                 |        |
| 募集対象学年   | 新2年生～新4年生、計20名程度(各学年7名程度が目安)。 |   |  |                 |        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>* 本研究会は1年間の履修を目途としていますが、2年連続しての受講も理由があれば可とします。</li> <li>* 他研究会との重複履修は原則可能です。負担が心配な人は教員に個別に相談してください。</li> <li>* 応募者多数の場合は、志望調査票の精査、面談等を通じた選考を行います。選考方法およびスケジュールについては、学習支援システムでお知らせします。</li> </ul>  |                               |   |  |                 |        |
| <b>オープンゼミ・説明会</b>  |                               |   |  |                 |        |
| オープンゼミ開催有無   | 無                             | オープンゼミ・説明会の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。 |  |                 |        |
| 説明会開催有無  | 有                             |   |  |                 |        |
| <b>備考</b>  |                               |   |  |                 |        |
| 特になし。  |                               |   |  |                 |        |

# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|   |                |  |  |                 |        |  |
|---|----------------|--|--|-----------------|--------|--|
| <b>B</b>  |                | 学習支援システム応募用授業コード   |  |                 | AA0483 |  |
| テーマ   | 江戸時代の「古文書」を紐解く |  |  |                 |        |  |
| 担当者   | 芳賀 和樹          | 開講期  | 通年   | ※変更可能性有<br>曜日制限 | 月曜日 5限 |  |
| 関連するコース   | 全てのコース         |  |  |                 |        |  |
| 授業の到達目標   |                |  | 授業のテーマ   |                 |        |  |
| 1) 歴史用語の意味や使い方、歴史資料の読み解き方を、具体的な事例に基づいて説明できるようにすること<br>2) 自ら「問い」を立て、適切な方法を用いて調査・分析し、各自の「答え」を導き出す力を養うこと<br>3) 多様な意見を尊重しながら建設的に議論する力を養うこと  |                |  | この研究会では、 <b>江戸時代の「古文書」を紐解き</b> 、読み方や用語の意味を実践的に学びながら、 <b>当時の人びとの暮らしや、自然資源の利用・管理について考えます</b> 。とりあげる古文書は、親孝行を褒賞した記録、村人が日々の様子を書き留めた日記、水・山の利用をめぐる行政文書や紛争解決を訴える願書などです。 <b>具体的なテーマは、ゼミのなかで相談しながら決定</b> します。 |                 |        |  |
| 授業の進め方  |                |  |  |                 |        |  |
| ①春学期前半： <b>古文書に親しむ</b> （活字になっている古文書を読みながら、歴史的な用語や表現を学ぶ）<br>②春学期後半： <b>古文書解読の実践</b> （古文書の解読に挑戦する）<br>③秋学期前半： <b>個人による調査と発表</b> （各自が「問い」を立て、調査・分析し、発表します）<br>④秋学期後半： <b>グループワークによる調査と発表</b> （グループごとに「問い」を立て、調査・分析し、発表します） |                |  |  |                 |        |  |
| 学生皆さんへのメッセージ  |                |  |  |                 |        |  |
| 日常生活や大学での学びのなかで、ふっと浮かんだ疑問や発見を、ぜひ大切にしてください。そして多様な意見を聞き、活発で建設的な議論をしましょう。疑問や発見をコツコツと積み重ねていくと、きっと新しい景色が見えてくるはずです。皆さんも「古文書」を読み解き、 <b>江戸時代の人びとの、何気ない、けれど時々スリリングな日常を垣間見てみませんか。入門から始めますので、古文書に初めて触れる方も安心してください。</b>             |                |  |  |                 |        |  |
| 授業外で行うべき学習活動（準備学習等）   |                |  | 成績評価基準   |                 |        |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>発表の準備（データの収集と整理、レジュメの作成など）</li> <li>自身の問題関心に意識を向け、関連する文献などを積極的に集め、読み解いてください</li> <li>可能な範囲でフィールドワーク（地域の博物館や図書館などを訪れることも含む）に出かけてみてください</li> </ul>                                 |                |  | 平常点、発表、質疑・討論などを総合的に評価します。  |                 |        |  |
| 募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）  |                |  |  |                 |        |  |
| 募集対象学年  | 新2～4年生         |  |  |                 |        |  |
| 参加希望者は、志望調査票に下記の【1】【2】を <b>できるだけ具体的に記入</b> して提出してください。必要に応じ、調査票の内容に基づいて面接を実施します。面接の実施方法や日時などについては、学習支援システムの「お知らせ」で配信します。<br><b>【1】</b> この研究会を志望する理由（この研究会をどのように活用したいか）<br><b>【2】</b> 関心のあるテーマとその理由                      |                |  |  |                 |        |  |
| オープンゼミ・説明会  |                |  |  |                 |        |  |
| オープンゼミ開催有無  | 有              | 下記日程でオープンゼミを開催します。そのなかで簡単な説明会を実施します。<br>・10月28日(月)5限 ← <b>1日目は現メンバーの発表があるので、おすすめです</b><br>・11月11日(月)5限<br>詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。 |  |                 |        |  |
| 説明会開催有無   | 有              |  |  |                 |        |  |
| 備考  |                |  |  |                 |        |  |
| 10/24(木)午後の研究会個別相談会に参加予定です。詳細は学部 Web サイトを確認してください。  |                |  |  |                 |        |  |

# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|  |                                   |   |  |                 |         |  |
|--|-----------------------------------|---|--|-----------------|---------|--|
| <b>B</b>   |                                   | 学習支援システム応募用授業コード  |  |                 | AA0484  |  |
| テーマ  | 責任ある経営とは何かを考える                    |   |  |                 |         |  |
| 担当者  | 長谷川 直哉                            | 開講期   | 通年   | ※変更可能性有<br>曜日時限 | 火曜日 5 限 |  |
| 関連するコース  | サステイナブル経済・経営コース ローカル・サステイナビリティコース |   |  |                 |         |  |
| 授業の到達目標  |                                   |   | 授業のテーマ   |                 |         |  |
| 大量生産・大量消費時代の 20 世紀が終わり、サステイナビリティ社会の実現が求められる 21 世紀では、企業経営のあり方にも変革が求められています。このゼミでは、責任ある経営とは何かをテーマに、未来社会で求められる企業像や企業価値とは何かについて学びます。   |                                   |   | SDGs(持続可能な開発目標)、パリ協定(脱炭素)、責任投資原則(ESG 投資)、共通価値の創造(CSV)、統合報告書、サーキュラエコノミー(循環経済)、CX(デジタルトランスフォーメーション)などのテーマを中心に、具体的な企業事例を通じて、企業経営の未来像を探求します。 |                 |         |  |
| 授業の進め方   |                                   |   |  |                 |         |  |
| 持続可能な社会の構築に向けた世界的な潮流を踏まえ、以下の 4 つのポイントを中心に日本企業が直面する課題について検討します。(1)SDGs とパリ協定が企業の未来に及ぼす影響とは何か、(2)責任ある経営の評価基準とは何か、(3)責任投資(ESG 投資)時代に社会から選ばれる企業とは何か、(4)AI(人工知能)などデジタル革命の成果に代替されないスキルの磨き方。2・3 年の混合チームを編成し、(1)～(4)のテーマに関する研究報告を行います。                           |                                   |   |  |                 |         |  |
| 学生の皆さんへのメッセージ  |                                   |   |  |                 |         |  |
| 持続可能な社会の構築に向けた世界的な潮流を踏まえ、以下の 4 つのポイントを中心に日本企業が直面する課題について検討します。(1)SDGs とパリ協定が企業の未来に及ぼす影響とは何か、(2)責任ある経営の評価基準とは何か、(3)責任投資(ESG 投資)時代に社会から選ばれる企業とは何か、(4)AI(人工知能)などデジタル革命の成果に代替されないスキルの磨き方。2・3 年の混合チームを編成し、(1)～(4)のテーマに関する研究報告を行います。                           |                                   |   |  |                 |         |  |
| 授業外で行うべき学習活動(準備学習等)  |                                   |   | 成績評価基準   |                 |         |  |
| 文献や資料の分析、ゼミでの発表に向けてサブゼミ等を実施して準備することが求められます。夏休みにゼミ合宿(奄美大島または北海道)を行います。  |                                   |   | 成績評価は加点主義で、作成した報告資料や報告内容のレベル、研究会活動に対する貢献度などを総合的に評価します。   |                 |         |  |
| 募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)   |                                   |   |  |                 |         |  |
| 募集対象学年   | 新 2 年生                            |   |  |                 |         |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>志望調査票に記載された志望動機と面接(対面またはオンライン)による選考を行います。</li> <li>B ゼミ希望者は A ゼミにも応募することを勧めます。</li> <li>応募者本人に直接面接の連絡をしますので、志望調査票には必ずメールアドレスを記載してください。</li> <li>合格者は「現代企業論」、「ビジネスヒストリー」、「CSR 論 I」、「CSR 論 II」の履修を推奨します。</li> </ul> |                                   |   |  |                 |         |  |
| オープンゼミ・説明会   |                                   |   |  |                 |         |  |
| オープンゼミ開催有無   | 有                                 | オープンゼミ・説明会の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。(オープンゼミ開催予定日 10/22、10/29、11/5) |  |                 |         |  |
| 説明会開催有無  | 有                                 |   |  |                 |         |  |
| 備考   |                                   |   |  |                 |         |  |

# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|  |          |  |  |                 |        |  |
|--|----------|--|--|-----------------|--------|--|
| <b>B</b>   |          | 学習支援システム応募用授業コード   |  |                 | AA0485 |  |
| テーマ  | 詩歌の鑑賞と実作 |  |  |                 |        |  |
| 担当者  | 日原 傳     | 開講期  | 秋学期  | ※変更可能性有<br>曜日時限 | 月曜日 4限 |  |
| 関連するコース  | 全てのコース   |  |  |                 |        |  |
| 授業の到達目標  |          |  | 授業のテーマ   |                 |        |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・詩歌(俳句・短歌・現代詩・漢詩・川柳等々)に親しむ。</li> <li>・詩歌を鑑賞する力をつける。</li> </ul>  |          |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定型詩(俳句・短歌・漢詩など)の規則や表現技法を学ぶ。</li> <li>・詩歌の実作を体験する。</li> </ul> |                 |        |  |
| 授業の進め方   |          |  |  |                 |        |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の時間に授業の進め方について説明する。</li> <li>・参加者の希望を聞いて、扱うジャンル・作品等を決め、鑑賞してゆく。</li> <li>・各自自分の好きな詩歌を紹介する時間も設けたい。担当者の説明を聞いた上で、各自の感じたことや考えたことを述べ、語り合うかたちを考えている。</li> <li>・「実作」の時間に関しては、各自に自分の作品を持ち寄ってもらい、それにコメントを加える。</li> </ul> |          |  |  |                 |        |  |
| 学生の皆さんへのメッセージ  |          |  |  |                 |        |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・詩歌を読みかつ作ることを通じて「言葉」に対する感覚が豊かになります。</li> <li>・定型詩には規則がありますが、それを踏まえることで、却って作品は作りやすくなります。体験すればそれが分かります。</li> </ul>  |          |  |  |                 |        |  |
| 授業外で行うべき学習活動（準備学習等）  |          |  | 成績評価基準   |                 |        |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンソロジー等を利用して、詩歌をたくさん読む。</li> <li>・「実作」の時間には前もって自作を用意する。</li> </ul>   |          |  | 平常点(授業への参加態度・実作) 70%<br>最終レポート 30%   |                 |        |  |
| 募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）   |          |  |  |                 |        |  |
| 募集対象学年   | 新2～4年生   |  |  |                 |        |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・志望者が多く選抜が必要な場合は、「志望調査票」によって選抜します。</li> <li>・他のAゼミ・Bゼミとの掛け持ちを認めます。</li> <li>・過去に担当者のBゼミの単位を取得した学生も受講を認めます（毎年、授業の内容は異なります）。</li> <li>・留学生の参加を歓迎します。その場合は、日本語が上達するように工夫して指導します。</li> </ul>                          |          |  |  |                 |        |  |
| オープンゼミ・説明会   |          |  |  |                 |        |  |
| オープンゼミ開催有無   | 無        | 期日を決めてのオープンゼミ・説明会は行ないません。質問のある人は担当者にメール(アドレスは履修の手引き参照)等で連絡してください。個別に対応します。 |  |                 |        |  |
| 説明会開催有無  | 無        |  |  |                 |        |  |
| 備考   |          |  |  |                 |        |  |



# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|  |                     |                         |  |                 |         |  |
|--|---------------------|-------------------------|--|-----------------|---------|--|
| <b>B</b>   |                     | 学習支援システム応募用授業コード        |  |                 | AA0486  |  |
| テーマ  | 地域の課題解決と環境保全の両立を考える |                         |  |                 |         |  |
| 担当者  | 藤田 研二郎              | 開講期                     | 通年   | ※変更可能性有<br>曜日時限 | 木曜日 5 限 |  |
| 関連するコース  | 全てのコース              |                         |  |                 |         |  |
| 授業の到達目標  |                     |                         | 授業のテーマ   |                 |         |  |
| 今日地域が抱える課題について、 <u>基礎的な知識</u> を身につけるとともに、 <u>実際の地域での活動に参加</u> し、課題解決のための取組みを実践します。   |                     |                         | <u>高齢化や地域活性化など地域の抱える課題の解決</u> について、環境保全との両立を考えながら、実践的なかわり方を検討します。2024 年度は、 <u>農業のボランティア</u> を中心に活動しています。 |                 |         |  |
| 授業の進め方   |                     |                         |  |                 |         |  |
| 春・秋学期ともに、フィールドワークと、その事前・事後学習を中心とした演習を行います。また地域が抱える課題について、 <u>環境社会学や地域社会学、農村計画学</u> などの教科書的な文献をレビューし、基礎的な知識を身につけます。<br>最終的に、フィールドワークや事前・事後学習の結果をまとめ、研究発表を行います。それらを通じて、具体的な地域の課題を考察するとともに、解決のあり方を提案することを目指します。<br>※2024 年度は、東京都日の出町での農業ボランティアを中心に活動していますが、今後は地域や対象を広げていければと思います。 |                     |                         |  |                 |         |  |
| 学生の皆さんへのメッセージ  |                     |                         |  |                 |         |  |
| 日頃から、ディスカッションや共同でのスライドの作成など、 <u>グループワーク</u> を行います。ゼミのメンバーと積極的にコミュニケーションをとり、主体的にゼミの運営に参加してください。   |                     |                         |  |                 |         |  |
| 授業外で行うべき学習活動（準備学習等）  |                     |                         | 成績評価基準   |                 |         |  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 地域の問題のニュースに関心をもって、日常的に情報収集を行う</li><li>● 対象の文献をしっかりと読む、発表の準備を行う</li><li>● ボランティア活動に積極的に参加する</li></ul>   |                     |                         | 平常点、グループワーク、ボランティア活動への参加、文献発表、研究発表、課題の提出などを総合的に評価します。  |                 |         |  |
| 募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）   |                     |                         |  |                 |         |  |
| 募集対象学年   | 新 2～4 年生 合計 15 人程度  |                         |  |                 |         |  |
| 志望調査票に、次の①②を <u>できるだけ具体的に記入</u> し、提出してください。調査票の内容にもとづき、必要に応じて面接を行います。<br>① このゼミを志望する理由<br>② 現在関心のある地域が抱える課題  |                     |                         |  |                 |         |  |
| オープンゼミ・説明会   |                     |                         |  |                 |         |  |
| オープンゼミ開催有無   | 有                   | オープンゼミ・説明会の情報詳細は        |  |                 |         |  |
| 説明会開催有無  | 無                   | 学習支援システムに仮登録して確認してください。 |  |                 |         |  |
| 備考   |                     |                         |  |                 |         |  |
| 11/15（金）3 限・BT0702 教室にて、オープンゼミ（ゼミの説明や研究発表など）を行います。詳細は後日、Hoppii で連絡します。   |                     |                         |  |                 |         |  |

# 2025 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

|  |                 |                                  |   |                 |        |  |
|--|-----------------|----------------------------------|---|-----------------|--------|--|
| <b>B</b>   |                 | 学習支援システム応募用授業コード                 |   |                 | AA0488 |  |
| テーマ  | IT パスポート試験とその応用 |                                  |   |                 |        |  |
| 担当者  | 渡邊 誠            | 開講期                              | 通年  | ※変更可能性有<br>曜日時限 | 火曜日 4限 |  |
| 関連するコース  | すべてのコース         |                                  |   |                 |        |  |
| 授業の到達目標  |                 |                                  | 授業のテーマ  |                 |        |  |
| IT パスポート試験(国家試験・経済産業省)の受験を念頭に関連知識、技能を修得することを目標としています。さらにそこで得た内容の応用法について検討します。受講生が今後各々進めていく研究および将来の業務に対して、これらの知見をどのように生かせばよいのかなどについて考察できるようになることも大切な目標のひとつとしています。社会における科学技術の役割、その政策的課題についても考える機会とします。             |                 |                                  | おおむね次の事柄について学習します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・コンピュータの基礎理論とシステム構成(テクノロジー)</li><li>・IT システム及びネットワークに関する基礎と活用法</li><li>・アルゴリズムとプログラミング</li><li>・システム開発と運用・管理(マネジメント)</li><li>・経営戦略と企業活動、業務分析(ストラテジ)</li><li>・上記知識、分析ツールなどの活かし方研究</li></ul> |                 |        |  |
| 授業の進め方   |                 |                                  |   |                 |        |  |
| 指定した教科書をもとにして丁寧に読み進めます。テキストに掲載されている章末問題などを解くことを通して、内容の理解度を高めていきます。その際、ポイントとなる事項についてお互いに検討し合うことにします。また、学習で得た知識・技能の応用法についてグループ研究することを含めて考察していきます。セキュリティ、AI などの問題についても重要な検討事項となります。これらを通して社会における科学技術のありかたについて検討します。 |                 |                                  |   |                 |        |  |
| 学生の皆さんへのメッセージ  |                 |                                  |   |                 |        |  |
| 本研究会は情報処理技術者試験における「IT パスポート試験」の取得を目標としています。そのため広範囲の内容に触れることになることを理解してください。文系の皆さんにとって有意義な資格であると考えています。授業では技術的側面だけではなく、企業活動、経営戦略、法務、品質管理、……などに関わる内容についても学習します。本研究会は、論理的な思考と判断力を身につけるための基礎を修得するという側面があることを意識してください。 |                 |                                  |   |                 |        |  |
| 授業外で行うべき学習活動(準備学習等)  |                 |                                  | 成績評価基準  |                 |        |  |
| 毎回、予習・復習することが必要です。教科書、各種資料の読み込み、練習問題の検討、検討項目の考察などを行います。  |                 |                                  | ゼミ参加の積極性 50%、レポートなどの提出物の充実度 50%とします。  |                 |        |  |
| 募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)   |                 |                                  |   |                 |        |  |
| 募集対象学年   | 新2~4年生          |                                  |   |                 |        |  |
| 連絡事項は学習支援システムに掲載しますので、注意して見てください。選抜に際して面接は行いません。提出された志望調査票をもとに受講者を決定します。受講者数としては20名程度を予定しています。   |                 |                                  |   |                 |        |  |
| オープンゼミ・説明会   |                 |                                  |   |                 |        |  |
| オープンゼミ開催有無   | 無               | 説明会の詳細情報は学習支援システムに仮登録して確認してください。 |   |                 |        |  |
| 説明会開催有無  | 有               |                                  |   |                 |        |  |
| 備考   |                 |                                  |   |                 |        |  |
| 募集相談会は入退室自由としていますので、お気軽に参加してください。皆さんの参加を歓迎しています。   |                 |                                  |   |                 |        |  |